

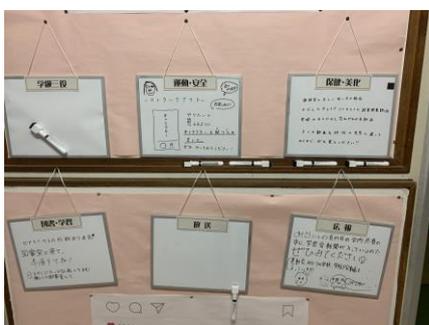
終業日に向けて～子供たちの様子（12月16日）

過日、学芸発表会を終えたばかりですが、早いもので終業日まであと1週間です。

一つの区切りである終業日に向かって、子供たちも様々な活動についてまとめをしたり、整理をしたりして、新しい年に向かう姿が見られます。子供たちの様子をいくつか紹介します！

児童委員会～6年生最終日（12月12日）

今年度の児童委員会は、「この時期は（行事では）は毎年この仕事」…のように、「はじめからやるのが決まっている」のではなく、「子供たちがやりたいことを話し合って決めていく」ことができるように、「新しい義務教育学校で目指す姿」にかわりました。



動画やロイロノートなど、ICTを用いた取組や、児童への連絡、後期課程との連携など、学校をよりよくするために「やりたい」と考え工夫した活動がたくさん生まれました。

このような取組を担う中心となった6年生のがんばりは、言うまでもありません。6年生最後の活動の日、「どんな学校にしたいのか」「どのような思いをもって活動してきたのか」を語る姿、5年生がそれを受け止める姿が見られました。



「学校全体を支える役割」の面白さややりがいを、ぜひ引き継いでいてもらいたいと期待しています。

6年生が、後期課程総合 Week に参加（12月13日）

後期課程1年間の総合的な学習の時間でのまとめを発表する「総合 week」、8年生の学習成果の発表に6年生が参加し、意見を述べました。

後期課程の生徒たちに意見を述べるのは、緊張もしたかもしれませんが、6年生らしく、たくさんの発言があったようです。これまでに総合で学んできた地域の歴史や阿寒での学びから、「くしろのよさを生かす」という視点で改めて考えることができたようです。





今年最後の「読書週間」サポートプロジェクトの皆様の協力、ありがとうございます。

学芸会の感想コメント、続々といただいています。ありがとうございます！



制服バザー、グッズプロジェクトの皆様がバザーの準備をしてくださいました

6年生が「こころの劇場」で、劇団四季の「人間になりたがった猫」を鑑賞しました。



北国タイム「ビッグアート」活動の成果が展示されています！

1年生は、「わらべうた」のゲストティーチャーと、遊びを楽しみました。

